

令和3年度

令和3年12月3日

# 遷喬小だより 12月号

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬

～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

## 人権参観日&人権週間 12/4～12/10

12月2日の人権参観日には大勢の皆さんに来校いただきありがとうございました。

本校では、平素から「一人一人を大切に作る学校」をめざして取り組んでいるところです。

「命・人権」を尊重し「個性」を認め合うことを指導の重点に置き、「聴ききる」「表現し合う」「時を守り、場を整え、言葉を正す」ことを遷喬小の当たり前として徹底するよう指導してきました。

具体的には、「チャイムスタート」、「ハチネボそろえ」、「はきものそろえ」、「やさしい言葉ミッション」、「『ありがとう』と『ごめんなさい』」等に取り組んでいます。実行できる子どもたちが増えており、「気持ちのよい学校」になっていると感じています。

また、人権週間に合わせて、様々な取組を行っています。

人権ポスター（3・5年）、人権作文（4年）、人権標語（6年）「友達のいいところ見つけ」（1・2年）等、各学年に合った取組を行い、日頃の自分たちの生活を振り返り、人権意識の向上を図ることをねらっています。

今年度は、6年生が「遷喬スマイル祭り」を企画してくれました。「共感」「配慮」「思いやり」をキーワードに人権週間期間中に合わせて、12月7日にみんなを笑顔にするイベントが実施されます。

また、今年度は「高齢者の皆様とメッセージ交流」をします。新型コロナの影響で真庭市が例年実施している敬老の日の催しが今年度もできませんでした。そこで、真庭市内の小学生が地域のお年寄りの皆さんへメッセージを書きました。本校は4～6年生が参加しました。そのお礼に高齢者の皆様からメッセージがたくさん届いています。お互いに温かい気持ちになることができるので、12月6日の給食時間を活用して、そのメッセージを子どもたちに放送で紹介しようと考えています。

人権参観日でも、道徳や国語の授業を行い「やさしさ」「命」「人権」等について考えました。保護者の皆様にも一緒に考えていただくよい機会になったのではないのでしょうか。



野中健志氏によるPTA教育講演会「ビジョントレーニング」には、約60名が参加し、「動くために必要な見る力」についての講話を楽しく聴くことができました、わかりやすく具体例を交えながら話をしてくださり、眼球運動のコントロール能力や焦点合わせ機能等の視覚能力を向上させるトレーニングも実際にみんなで体験してみました。お世話いただいたPTA会員研修部の皆さんに心より感謝いたします。

学校運営の参考に致しますので、今回の参観日も感想カードをお寄せください。よろしくお願いたします。

# ★★★★4年生紹介★★★★

学年目標は、「きらめき～共に 輝こう～」です。

学習発表会でお伝えしたように、社会見学で「森と水の働き」について学びました。自然の大切さに気付き、自分たちに何ができるのか考えました。また、図工の授業でも、森林をテーマに絵を描きました。どの作品も思いのこもった丁寧な仕上がりになっています。

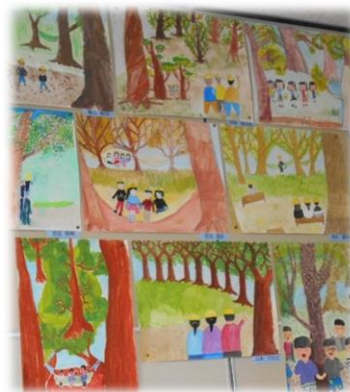
総合学習の時間では「知ったらいいじゃん 久世の伝統～未来へ残そう～」という合い言葉で、久世の様々な伝統を調べています。商店街の歴史やお店のこと、久世の伝統を残そうと取り組んでいる人々のことなどゲストティーチャー（岡本さん・菱川さん・鈴木さん）から教わりました。（参照 学校便り 10月号①）

また、事前に旧遷喬小普通教室で国語の授業を経験した後、旧遷喬小学校の「講堂」にて、松坂先生からロマネスク遷喬のお話をいただきました。地元の小学生が、旧遷喬小で授業を受けるということ自体に大きな意味があると思います。時を超えて世代を超えて何か共有できるものがあるのではないのでしょうか。旧遷喬小での国語の授業前には、4年生の総合的な学習についてMITから取材も受けました。

旧遷喬小に勤務されていたことのある三船先生からは、早川代官の授業をしていただきました。三船先生自ら編集に関わった歴史まんが「いなか代官奮戦記—美作・久世のむらおこし 早川正紀公物語」をもとにくわしく教えていただきました。

これからの4年生は、久世の伝統について教わったことを広める活動に取り組んでいきます。ご期待下さい。

図工の作品



旧遷喬小にて国語の授業



MITの取材を受ける3名



松坂先生による旧遷喬小学校の授業



三船先生による早川代官の授業



歴史まんが



※遷喬小だよりは、毎回、遷喬小ホームページでカラー版を掲載しています。